

平成 21 年 4 月 14 日

各 位

株式会社 泉州銀行

「日本の森を守る地方銀行有志の会」 の平成 21 年度活動計画について

泉州銀行（頭取 吉田 憲正）は、「日本の森を守る地方銀行有志の会」に参加する地方銀行とともに、平成 21 年度の活動計画を策定し、日本の森を守る活動を本格的に開始いたします。

「日本の森を守る地方銀行有志の会」は、各地方銀行の森づくり活動の情報をネットワーク化することにより、国土の 7 割を占める日本の森を守る活動を支援していくことを目的として、平成 20 年 7 月に地方銀行有志で発足いたしました。すでに本会の趣旨に賛同し参加する地方銀行は平成 21 年 4 月 13 日現在、56 行になっております。

本会の発足記念事業として平成 21 年 12 月に、京都議定書が採択された京都において「日本の森を守る京都サミット（仮称）」を行政各省庁、都道府県などの協力を得て開催を予定しております。この京都サミットを通じて、森を守る大切さを国内外に発信していきたいと考えております。

また当行では、緑を増やすことで地球温暖化を防止し、次世代の子ども達や動物に暮らしやすい環境を残すことを目的とした環境定期預金の取扱いを実施（平成 21 年 1 月～2 月）し、運用収益の一部を環境保全団体（共生の森基金、緑の募金）へ寄付したほか、地元での植樹ボランティア活動に参加するなど、地元企業と提携しながら、環境保全活動を積極的に展開しています。

本会のネットワークを活用し、各行との取組事例等の情報交換を通じて、当行の活動をより良いものにするとともに、地域社会へのさらなる貢献に努めてまいります。

以 上

1. 「日本の森を守る地方銀行有志の会」の参加行について

- ・発 足 平成20年7月16日
- ・参加行 青森、秋田、足利、阿波、伊予、岩手、大分、大垣共立、沖縄、鹿児島、関東つくば、紀陽、京都、近畿大阪、群馬、佐賀、山陰合同、四国、七十七、清水、十八、十六、荘内、常陽、親和、泉州、但馬、第四、千葉、千葉興業、中国、東京都民、東邦、東北、南都、西日本シティ、八十二、肥後、百五、百十四、広島、福井、福岡、北越、北都、北陸、北海道、三重、みちのく、宮崎、武蔵野、山形、山口、山梨中央、横浜、琉球
(平成21年4月13日現在、56行／銀行名は五十音順)

<発足趣旨>

- ・森林は国民にとってかけがえのない財産であり、人間やあらゆる生物が生存するための根本的な機能を持っていますが、近年整備が行き届かず多くの森林が荒廃しています。
- ・地元根ざす地方銀行の多くが、美しい健全な森林を次世代に引き継いでいくことに貢献していくことが使命と認識し、各地域において森づくり活動を開始または準備しています。
- ・森づくり活動の地銀情報ネットワークである「日本の森を守る地方銀行有志の会」では情報交換を中心とし、会議で得た情報やノウハウを各行の活動に反映させ、森づくり活動のさらなる活性化につなげていくとともに、各地域での活動が日本全体に広がり「日本の森を守る」活動の一助となるよう、本会の発展をめざしていきます。

2. 平成21年度活動計画について

(1) 活動年度

平成21年4月1日から平成22年6月30日まで

※平成22年度以降は、毎年7月1日から翌年6月30日まで

(2) 総会

第1回定時会員総会の開催（開催時期 平成21年7月）

(3) 情報交換会

全体会議の他に2分科会に分かれて情報交換を行います。

ア. 第1分科会（森へ入ろう）

これから活動を始めるとは検討する銀行を主な対象とし、既に先進的な活動を行っている銀行の担当者を講師に、森づくりの相談窓口を見つけ、森づくりの準備について情報を共有し、各行の活動の一助とします。

イ. 第2分科会（ネットワークを築こう）

既に活動を行っている銀行を対象に、地域のリーディングバンクとして地域のネットワーク構築のため等の情報交換や事例発表を中心に行い、さらには環境金融商品・環境金融ビジネスの研究へと進めていきます。

(4) 「日本の森を守る京都サミット（仮称）」の開催予定について

- ・名 称：日本の森を守る京都サミット（仮称）
- ・日 程：平成21年12月4日（金）
- ・会 場：国立京都国際会館
- ・主 催：日本の森を守る地方銀行有志の会、社団法人 京都モデルフォレスト協会（予定）ほか
- ・内 容：第1部 基調講演・事例発表・討議・共同宣言の採択
第2部 講演会 ほか（一般公募）
- ・参加者：会員行頭取・役員、行政（林野庁、環境省など各省庁、地元地方公共団体 ほか）後援関係者、一般市民

泉州銀行の森林保全活動

■ 共生の森植樹祭に参加

泉州銀行では、平成 21 年 2 月 15 日に開催された「共生の森植樹祭」に、植樹ボランティアとして参加しました。

共生の森は、堺市臨海部の廃棄物処分場跡地において、自然の回復力を活かしながら、野鳥や小動物の生息する草地や水辺などに森林が介在する大規模な“ビオトープ”を、ボランティアやNPO、企業等の団体、行政が協働で創造していこうという取組です。

当日は、春を思わせるような暖かい気候の中で、職員とその家族が心地よい汗を流しました。

■ 蕎原そぶらの森保全活動に参加

泉州銀行では、平成 21 年 3 月 7 日に実施された「蕎原の森保全活動（10 周年記念植樹）」に、ボランティアとして参加しました。

「蕎原の森保全活動」は、平成 10 年 9 月の台風 7 号の影響で、沢山の木が倒れ、イバラやツルが侵入し藪化が進んでいた貝塚市蕎原の森を、美しい里山の景観と健全な森林に戻すために、ボランティアの手で整備活動が始められました。

この活動も 10 年を迎え、これまでのボランティア活動の様々な成果が目に見えて現れてきたことより、今般、活動 10 周年記念を兼ねて植樹活動が行われました。

当日は、当行職員とその家族が栗やゆずの植樹を行いました。

